

## ご 挨拶

会員の皆様をはじめ、亜熱帯森林・林業研究会に関心をお持ちの皆様  
に多数ご参加をいただきありがとうございます。

本会は今大会で7回目となりますが、会を重ねるにつれ研究発表も多  
岐にわたり、発表件数の増加と活発な議論が行われて来ており、会員の  
皆様の多大なご支援・ご協力によるものと感謝申し上げます。

さて、皆様もすでにご存じのように、農林水産省は2009年10月に「森  
林・林業再生プラン」を策定し、「10年後の木材の自給率を50%以上」  
を目指すべき目標として掲げています。本プランは平成22年には閣議決  
定された「新成長戦略」で、「21世紀国家プロジェクト」の一つに位置  
づけられています。

また、同年には「公共建築物における木材利用に関する法律」が施行  
され、国や地方公共団体、民間企業が住宅をはじめ、幅広い分野での木  
材の需要の拡大を目的としています。木材の需要拡大は当然のことなが  
ら森林の持つ多面的な機能、地球温暖化の防止としての森林の役割、生  
物多様性等を考慮した、健全な維持管理が必要であります。

本県の森林は亜熱帯特有の複雑な林分構造、貴重な動植物が生息して  
おり、学術的にも貴重となっています。しかしながら、このような森林  
に対しても亜熱帯森林の有する多面的な機能の持続発展と保全、適切な  
管理、木材や林産物の供給等、多様な対応が求められることとなります。

本研究会の発表をとおして、情報の提供や活発な議論をしていただき、  
本研究会がますます発展することを祈願して、会長挨拶と致します。

東日本大震災で被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げま  
す。

平成23年 8月26日

亜熱帯森林・林業研究会会長 金城 一彦